

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	博物館管理事業					事務事業コード	02802
部名	生涯学習部	課名	文化財課	係名	博物館	部課コード	120500

1. 事業概要

総合計画コード	3242				
事業年度	H 8 年度	～	H 年度	事業類型	○ソフト事業      ●ハード事業
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input checked="" type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 博物館法、朝霞市博物館条例、建築基準法、高圧ガス法、建築物にける衛生的環境の確保に関する法律(通称:ビル管理法)	
めざす目的成果	市民が生涯学習の場として適切に維持され、市民は安心・安全に博物館を利用している。				
事業内容	施設の維持管理を実施する。(清掃、警備、設備保守点検、修繕等)				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 博物館職員により利用者に安全で快適な場所となるよう開館・閉館時等の日常点検を実施している。また、施設の保守点検業務は専門業者に委託し、施設の維持管理を行う。				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		施設等修繕:展示室系統空調機緊急修繕など8か所 委託業務:警備業務委託、清掃業務委託など14業務委託 借り上げ業務:土地借上など3業務 博物館長期修繕計画の作成				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]～[ホ]		28,198	33,405	27,166	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
	[ホ]一般財源	28,198	33,405	27,166		
	b 人件費		5,862	7,328	10,626	
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)		34,060	40,733	37,792	
投入労働量	常勤職員等(人工)		0.80 人	1.00 人	1.45 人	
	一般職非常勤職員等(時間)		0 時間	0 時間	時間	
a 事業費 (H28年度決算見込)の執行内訳	博物館管理事業 需用費:6,278千円 役務費:83千円 委託料:13,166千円 使用料及び賃借料:7,639千円      合計27,166千円					
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活 動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( — )	12 ( — )	H 32 年度
	②		( )	( — )	( — )	H 年度
成 果	① 開館日数	日	289 ( 280 )	289 ( — )	289 ( — )	H 32 年度
	②		( )	( — )	( — )	H 年度

### 3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明> 利用者等の安全と博物館資料の保全の観点から、施設・設備の定期点検及び保守点検等の計画的な実施により、維持管理を図っていく必要がある。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 消防計画に基づく訓練を通じて、火災時の避難誘導をはじめ、消火栓、AEDの取り扱いも含めた総合的な訓練を実施することができた。その結果、利用者が安全に利用でき、トラブルなく施設管理を行うことができた。また、緊急修繕時においても、博物館事業に支障なく運営することができた。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 来館者が快適に利用できる環境を整えている。 参加と協働: 利用しやすい施設にするため、利用者アンケートを実施して意見をもとに改善を図っている。 経営的な視点: 計画的に修繕を進めている。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明> 施設設備の老朽化に伴い、緊急修繕が多くなってきていることから、各種点検結果等に基づき、優先順位を検討し施設の修繕を行う必要がある。		

### 4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで )			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	見直しの方向性	<input type="radio"/> A 見直して継続 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期 : H 年度)		
	方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	施設の老朽化に伴い、博物館運営に支障をきたすことがないように、施設管理の安全かつ適切な対応に取り組む。また、耐震に伴う既存不適格箇所の改修については、施設の増改築時に適用できる基準と位置付けられており、財政状況を考慮しながら、計画的に改修工事を実施する。 あわせて、市民が安全・安心して施設を利用できるよう環境作りに努める。		